



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月30日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	15,017	13.8	1,159	35.4	1,176	46.2	919	214.0
2025年12月期第1四半期	13,195	7.9	856	45.6	804	5.0	292	△8.0

(注) 1. 包括利益2026年12月期第1四半期 1,109百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 △1,141百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	57.78	—
2025年12月期第1四半期	18.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	76,973	38,873	46.4	2,241.81
2025年12月期	74,052	38,354	47.5	2,211.79

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 35,693百万円 2025年12月期 35,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	5.0	4,200	9.2	4,050	5.2	2,800	17.4	176.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	17,710,000株	2025年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	1,788,463株	2025年12月期	1,794,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	15,918,859株	2025年12月期 1 Q	15,834,645株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）における世界経済は、緊迫化する中東情勢等の地政学リスクの高まりにより、原材料・エネルギー価格の動向、為替変動、海外経済情勢の動向等により、世界景気に与える影響は極めて複雑で不透明な状況となっています。また、わが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、中東情勢等の影響が、今後の国内景気に与える影響が懸念されます。

このような中、当社グループは企業パーパス「Activate Your Life」及び経営ビジョン「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーションカンパニー」のもと、2030年までの具体的な戦略等を示した中期経営計画「INNOVATION30」（2026年～2030年）を策定し、基本戦略として「事業拡大と成長投資」「財務・資本戦略の強化」「サステナビリティ経営」を掲げました。今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し持続的成長を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は15,017百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益1,159百万円（前年同期比35.4%増）、経常利益1,176百万円（前年同期比46.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は919百万円（前年同期比214.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### (化学品事業)

化学品事業には、当社グループの主力となる繊維加工用薬剤の他に情報記録紙用薬剤、樹脂原料、業務用クリーニング薬剤、医療・介護施設向け薬剤及びその他機能性化学品が含まれております。

売上高は11,530百万円（前年同期比18.5%増）、セグメント利益は1,499百万円（前年同期比39.0%増）となりました。主力の繊維化学品において、中国拠点を中心に、フッ素フリー撥水剤や工程薬剤など、高付加価値EHD関連製品の新規ビジネス獲得進展などにより売上が伸長しました。さらに、南西アジア及び韓国においても売上が伸長しました。また、電子材料関連工程薬剤においても、新規ビジネスの獲得などにより売上が伸長しました。これらの売上伸長により、販売管理費が増加したものの、化学品事業は増収増益となり、第1四半期として売上高、セグメント利益額及びセグメント利益率は過去最高となりました。

#### (化粧品事業)

化粧品事業はヘアケア剤、ヘアカラー剤、パーマ剤、スキャルブケア剤及びスタイリング剤が主な取扱品であります。

売上高は3,287百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は187百万円（前年同期比28.5%減）となりました。当社デミコスメティクスにおいては、注力ブランドが堅調に推移したものの、物価上昇など国内経済の影響を受けました。連結子会社においては、DEMI KOREA CO., LTD.における販売は市況悪化の影響を受け売上高が減少したものの、山田製薬株式会社における受託事業は堅調に推移いたしました。一方で、デミコスメティクスでの戦略的なコスト増等により、化粧品事業は減収減益となりました。

#### (その他)

売上高は199百万円（前年同期比22.2%増）、セグメント損失は20百万円（前年同期は8百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,921百万円増加し76,973百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産のその他が2,066百万円増加、商品及び製品が369百万円増加、原材料及び貯蔵品が478百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,402百万円増加し38,100百万円となりました。この主な要因は、流動負債のその他が2,595百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が524百万円増加した一方、長期借入金が616百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、518百万円増加し38,873百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により利益剰余金が919百万円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が490百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東情勢の緊迫化に伴い、原材料及び各種コストの高騰、サプライチェーンの混乱等が発生しておりますが、先行きについては不確実かつ予測困難な状況であることから、現時点で連結業績予想の修正は行っておりません。

今後の動向を注視しつつ、価格改定対応やコストダウン活動等を継続的に実施していく予定です。

また、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,848	11,765
受取手形、売掛金及び契約資産	11,955	12,048
商品及び製品	5,446	5,815
仕掛品	919	762
原材料及び貯蔵品	4,638	5,116
その他	920	1,244
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	35,715	36,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,704	11,489
機械装置及び運搬具（純額）	2,058	1,921
土地	7,807	7,794
建設仮勘定	11,382	11,473
その他（純額）	682	702
有形固定資産合計	33,635	33,381
無形固定資産		
その他	933	2,999
無形固定資産合計	933	2,999
投資その他の資産		
その他	3,767	3,851
投資その他の資産合計	3,767	3,851
固定資産合計	38,336	40,233
資産合計	74,052	76,973

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,335	6,224
短期借入金	9,302	9,395
1年内返済予定の長期借入金	1,368	1,892
未払法人税等	388	417
賞与引当金	1,046	447
役員賞与引当金	20	4
その他	4,522	7,117
流動負債合計	22,983	25,498
固定負債		
長期借入金	7,866	7,250
退職給付に係る負債	3,262	3,265
株式報酬引当金	274	276
その他	1,310	1,809
固定負債合計	12,713	12,601
負債合計	35,697	38,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,061	3,061
利益剰余金	25,712	26,142
自己株式	△1,401	△1,394
株主資本合計	30,271	30,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	829	788
為替換算調整勘定	4,445	4,533
退職給付に係る調整累計額	△343	△336
その他の包括利益累計額合計	4,931	4,985
非支配株主持分	3,152	3,180
純資産合計	38,354	38,873
負債純資産合計	74,052	76,973

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	13,195	15,017
売上原価	8,413	9,626
売上総利益	4,782	5,391
販売費及び一般管理費	3,926	4,231
営業利益	856	1,159
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	3	4
持分法による投資利益	1	7
その他	41	49
営業外収益合計	70	87
営業外費用		
支払利息	26	57
為替差損	73	2
その他	22	10
営業外費用合計	122	70
経常利益	804	1,176
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	-	9
負ののれん発生益	-	7
特別利益合計	0	16
特別損失		
固定資産除却損	0	1
固定資産売却損	0	-
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	803	1,191
法人税等	425	162
四半期純利益	378	1,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	292	919

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	378	1,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	△41
為替換算調整勘定	△1,390	114
退職給付に係る調整額	△9	6
その他の包括利益合計	△1,519	80
四半期包括利益	△1,141	1,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,050	973
非支配株主に係る四半期包括利益	△90	135

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,730	3,300	13,031	163	13,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	23	24
計	9,730	3,301	13,032	186	13,219
セグメント利益又は損失（△）	1,078	262	1,340	8	1,349

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,340
「その他」の区分の利益又は損失（△）	8
セグメント間取引消去	21
全社費用（注）	△514
四半期連結損益計算書の営業利益	856

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,530	3,287	14,817	199	15,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	0	16	17
計	11,530	3,288	14,818	216	15,035
セグメント利益又は損失（△）	1,499	187	1,687	△20	1,666

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,687
「その他」の区分の利益又は損失（△）	△20
セグメント間取引消去	26
全社費用（注）	△533
四半期連結損益計算書の営業利益	1,159

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報は、金額的に重要性が乏しいため記載を省略しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却額を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	523百万円	497百万円